

日レセ API について

はじめに

日レセの普及に伴い、外部システムとの様々な連携が望まれるようになってきています。そこでその要望に対応可能な **claim** 通信とは別の日レセ専用の連携機能を実装しました。これを日レセ **API** と呼びます。

日レセ API とは

Ver.4.5.0 から **glserver** は HTTP プロトコルの通信が可能となり、日レセの様々なサービスからの情報の取得を可能としました。

日レセ API での接続構成

日レセ API の動作する仕組みは、以下のようになっています。
基本的にサーバ側は、GLCLIENT による接続と同様です。

(日レセ API)

(claim)

連携相手

連携相手

HTTP プロトコル

TCP・IP ソケット

GLAUTH

GLSERVER

ruby サービス

WFC

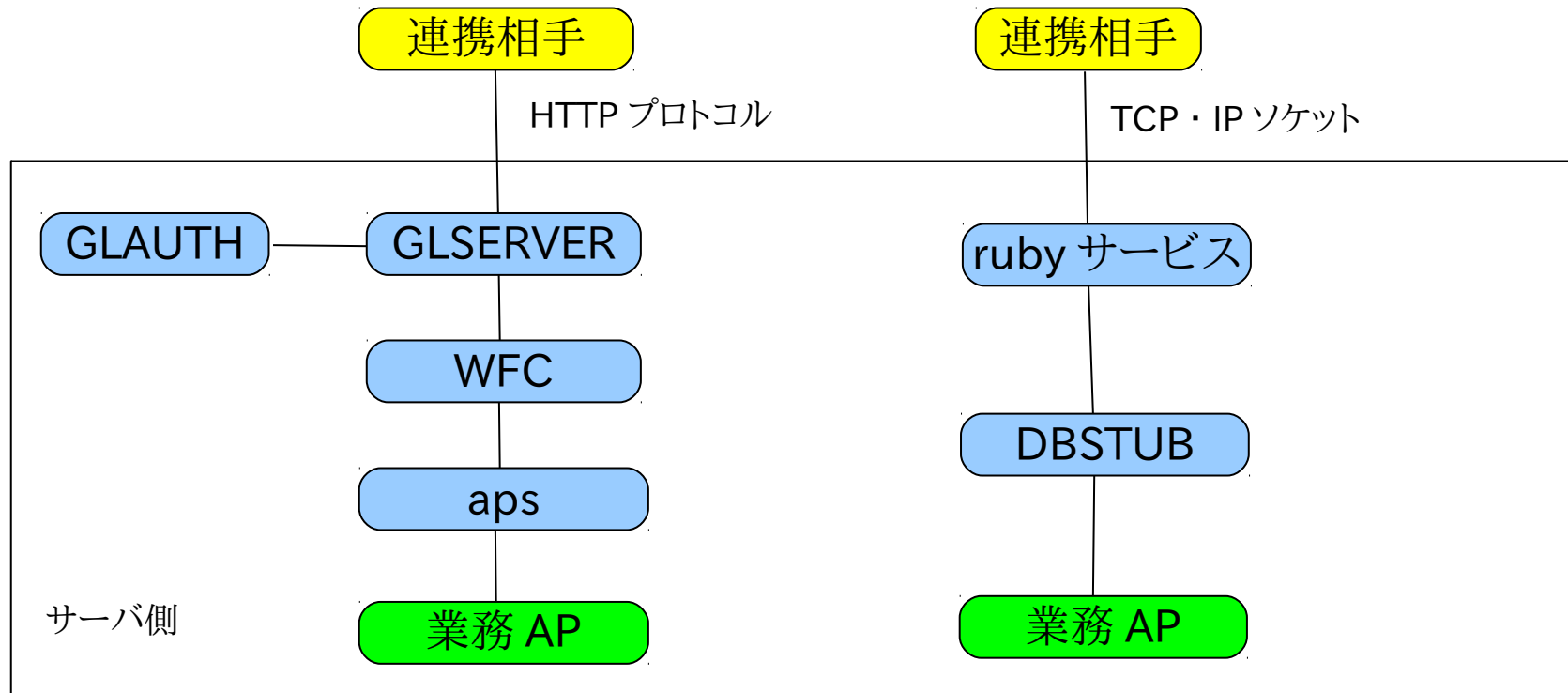
DBSTUB

aps

サーバ側

業務 AP

業務 AP



日レセAPI のメリット

- .レスポンス情報の返信機能があり、送信側で送信データの登録状況等の判断が可能となっています。 (claim は、電文を受け取ったかどうかのレスポンス(ack,nak)のみ)
- .日レセ独自仕様のため多様なサービスを提供し易くなっています。
(現在 13 のサービスを提供済み)
- .上記理由により仕様変更(要望)が比較的早く対応可能となっています。
(claim の場合、規格が決定されるまで作業に入れないケースも出てきます。)
- .HTTP プロトコルのためクライアントの作成が容易だと考えます。
- .サーバ側での XML 解析処理が claim より高速となっています。
(xml 構造が claim 規格に比べてシンプル)

1.CLAIM での患者基本情報の一部(患者番号、氏名、カナ氏名、生年月日、性別)

```
<mmlPi:PatientModule>
  <mmlPi:uniqueInfo>
    <mmlPi:masterId>
      <mmlCm:Id mmlCm:type="facility" mmlCm:tableId="MML0024">
        00148
      </mmlCm:Id>
    </mmlPi:masterId>
  </mmlPi:uniqueInfo>
  <mmlPi:personName>
    <mmlNm:Name mmlNm:repCode="P" mmlNm:tableId="MML0025">
      <mmlNm:fullname>ヤマダ タロウ </mmlNm:fullname>
    </mmlNm:Name>
    <mmlNm:Name mmlNm:repCode="I" mmlNm:tableId="MML0025">
      <mmlNm:fullname>山田 太郎 </mmlNm:fullname>
    </mmlNm:Name>
  </mmlPi:personName>
  <mmlPi:birthday>1932-12-05</mmlPi:birthday>
  <mmlPi:sex>male</mmlPi:sex>
```

2.日レセ API での患者基本情報の一部(患者番号、氏名、カナ氏名、生年月日、性別)

```
<record name="Patient_Infomation">
  <string name="Patient_ID">08092</string>
  <string name="WholeName">テスト 花子</string>
  <string name="WholeName_inKana">テスト ハナコ</string>
  <string name="BirthDate">1928-08-05</string>
  <string name="Sex">2</string>
```

日レセAPI のデメリット

- .xml 規格が日レセ独自であるため、他のレセコンで使用することは出来ません。
- .受付完了通知などの日レセ側からのトリガーをリアルタイムに受け取れません。
(claim は、受付完了等の情報を連携相手システムへ内容を含め通知することが可能です)

現時点での提供サービス

- .中途終了データ作成(claim での予約請求モジュール受信機能とほぼ同等)

claim との違い

日レセAPIのレスポンス情報返却例

1.通常登録時

```
<string name="Information_Time">15:46:03</string>  
<string name="Api_Result">00</string>  
<string name="API_Result_Message"> 登録処理終了 </string>
```

2.登録内容置換時

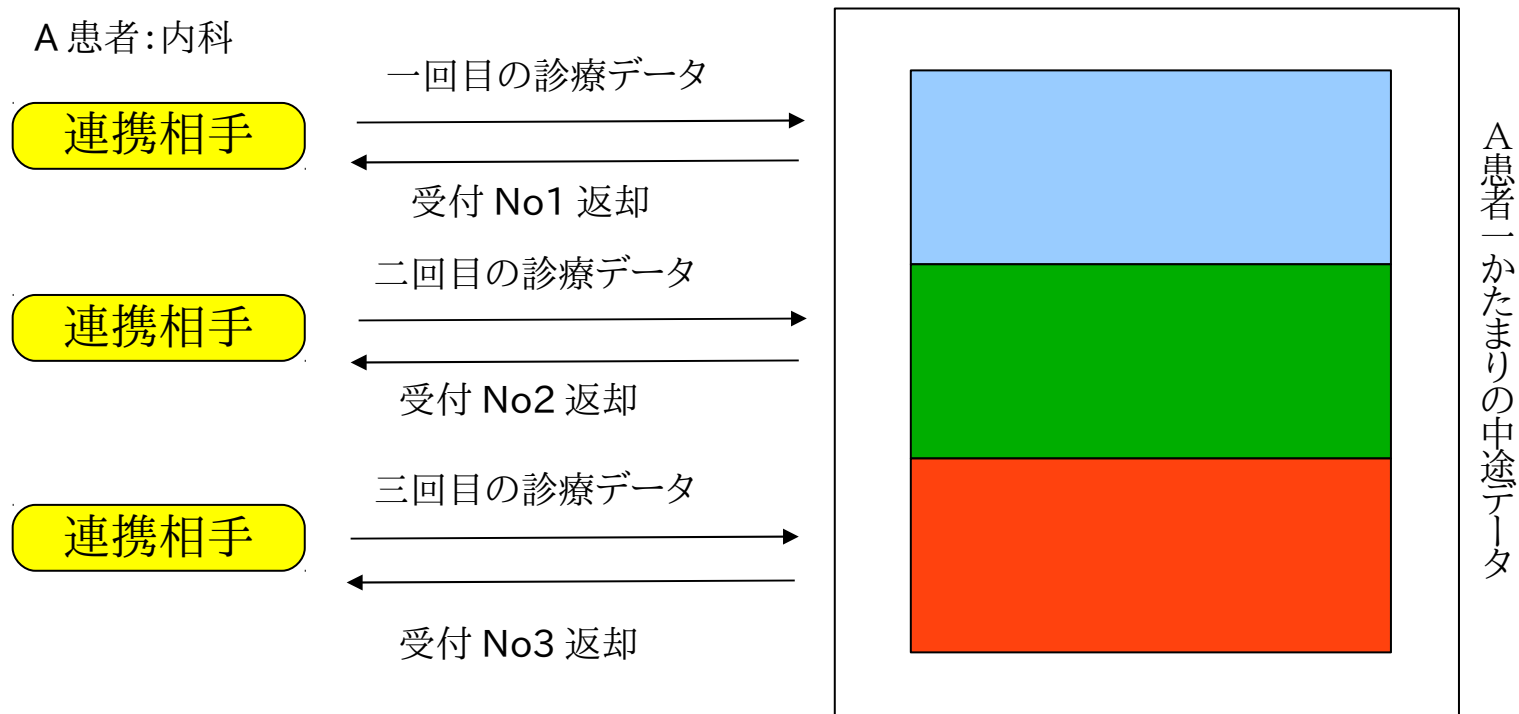
```
<string name="Information_Time">15:46:03</string>  
<string name="Api_Result">02</string>  
<string name="API_Result_Message"> 内容を置き換えました </string>
```

3.保険情報不正時

```
<string name="Information_Time">15:46:03</string>  
<string name="Api_Result">K2</string>  
<string name="API_Result_Message"> 保険組合せをゼロで登録しました </string>
```

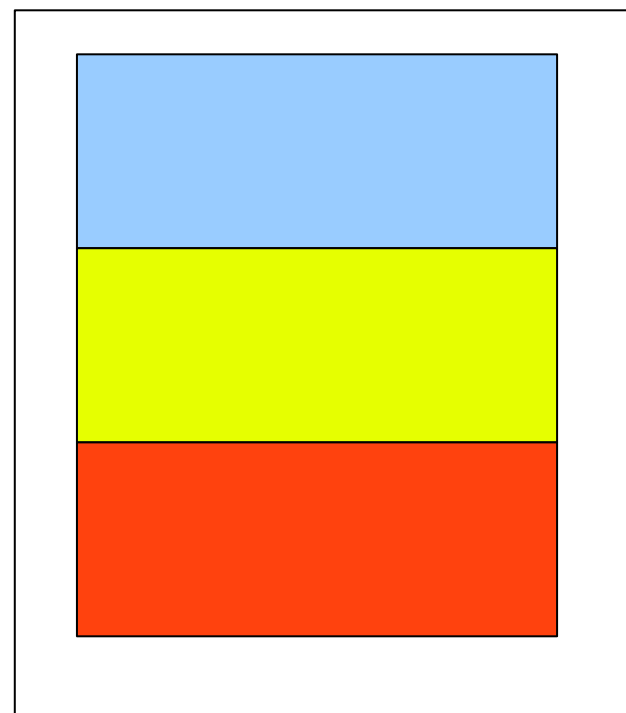
入院診療情報の部分取り消し、置換

現在、入院の診療情報データは、同一患者、診療年月日で追記式にデータを格納しています。日レセ API では、受け付ける毎に受付 No (UID) を返却し、その受付 No を使用して受付 No 毎のデータの置換および削除を可能としています。



連携相手

受付 No2 の診療置換データ
←
受付 No4 返却



.患者基本情報の取得

.予約(登録、取り消し)

.受付(登録、取り消し)

.指定された日付の受付一覧返却

.予約一覧

.点数マスタ情報登録(用法等6種類のみ)

.患者番号一覧の取得

.複数の患者情報取得

.患者情報取得(氏名検索)

.システム管理情報の取得(診療科、職員情報)

.診療情報の返却(月別受診履歴、診療内容)

.患者病名情報の返却

今後の予定

.version2 のリリース

タグ内の出力順を属性、タグ名称 --> タグ名称、属性に変更
情報のないタグを返却しない(軽量化)

1.現形式

```
<record name="Patient_Infomation">  
  <string name="Patient_ID">08092</string>  
  <string name="WholeName">テスト 花子</string>  
  <string name="WholeName_inKana">テスト ハナコ</string>  
  <string name="BirthDate">1928-08-05</string>  
  <string name="Sex">2</string>  
  <string name="PhoneNumber1"/>  
  <string name="PhoneNumber2"/>  
</record>
```

2.新形式

```
<Patient_Information type="record">  
  <Patient_ID type="string">45622</Patient_ID>  
  <WholeName type="string">手素と 原爆</WholeName>  
  <WholeName_inKana type="string">テスト ゲンバク</WholeName_inKana>  
  <BirthDate type="string">1945-10-10</BirthDate>  
  <Sex type="string">1</Sex>  
</Patient_Information>
```

.version 4.7(仮称)(4.6 パッチも含む) で提供予定の新規サービス

.患者登録 API(version 4.6 より)

新規登録(CLASS=01)

患者基本情報登録および保険情報から保険組合せの登録を可能とします。

新規登録(CLASS=02)

患者番号・性別・生年月日が一致する患者を対象として送信された内容で
基本情報の更新を可能とします。
(但し、保険、公費の更新は不可)

新規登録(CLASS=03)

患者番号・性別・生年月日が一致する患者を対象として該当患者の受診履歴
・病名・入退院登録が登録されていない場合のみ削除を可能とします。

.請求金額シュミレーション API(version 4.7 より)

診療情報および保険組合せ情報を元に該当患者の請求金額(概算)情報
等の返却を可能とします。